

動作時の注意

- 昼／夜の判別は照度センサーを使用し、約 10Lux を基準に判別します。
(注意：夜設定時でも、昼間に辺りが暗くなった時は動作します。)
- 昼／夜の判別で、時間外の場合は電源投入後にバッテリー残量表示が数回点滅し、動作待機になります。
その後、時間内に自動で監視状態に切り替わります。
- 電源スイッチを入れた際に、1 分間 LED とブザーが点滅した時はバッテリーを交換してください。
- トリガー作動後は電源切と同じ状態ですので、再セットする場合は電源スイッチを切にしてから、再度入りしてください。

設置時・仕掛け時の注意

- **作業中は必ず電源スイッチを切にしてください**
- ボックス内部に水が入らないようにしてください
- マグネットに錆が発生すると性能が低下します。ヤスリ等で取り除いてください。
- センサーレンズが汚れている場合は汚れを拭きとってください。

製品保証に関して

ご購入後 1 年以内の故障は無償にて修理対応します。ただし、以下の理由での故障については有償対応となります。

- | | |
|---------------------|----------------|
| ①取り扱い上の不注意・誤った使用方法 | ②天災・火災・盗難・外的破損 |
| ③お買い上げ後の輸送・移動・落下 | ④保存上の不備 |
| ⑤弊社指定の修理者以外の修理または改造 | ⑥当製品の使用目的以外の使用 |

- 修理は弊社持ち込み修理です。故障機器の取り外しとご返却はお客様の負担にてお願いします。
弊社では、あらゆる事故に対しての責任は負いかねますのでご了承願います。

仕様

型番	AMS-200-MT	電池寿命	使用から約 3 年
構造	簡易防滴	スタンバイ電流	10uA 以下
使用温度	-10 ~ +50°C	センサー範囲(直径)	温度／約 30 cm 距離／約 5cm
電源電圧	DC6V	外形寸法	240(D) × 140 (W) × 115 (H) 突起除く
電池の持ち	約 2か月～	質量	

アニマルセンサー 2 保証書

持込修理

品名	アニマルセンサー 2
型式	AMS200-MT
S/N	AMS200-MT ※製品外箱および本体 BOX 内部に表示されています。
保証期間	納入日から一年間
納入日	年 月 日
お客様	
取扱販売会社	

株式会社アイエスイー

〒516-0802
三重県伊勢市御薗町新開 80 番地 大西ビル 301 号
TEL: 0596-36-3805 / FAX: 0596-36-3847

URL <http://www.ise-hp.com/>
Email info@ise-hp.com



獣サイズ判別センサー式自動捕獲システム

特許第 5696997 号

ICT

アニマルセンサー 2

取扱説明書



ご使用の前に説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
誤った使い方は重大な事故につながる危険性があります。

安全上のご注意

必ずお読みください

- 電源スイッチが「入」の状態での作業は危険ですので、絶対におこなわないでください。
- センサーボックス内に水を入れないでください。故障破損の原因となります。
- バッテリーの寿命は使用から 3 年です。それ以降のご使用は液漏れや破裂などの原因となりますので、3 年経過後は弊社指定のバッテリーに交換してください。
- バッテリーの充電は弊社指定の 6V シールドバッテリー充電器をご使用ください。
- 当製品のバッテリーは他の機器では使用しないでください。
- 当製品の改造は非常に危険ですのでおこなわないでください。

ご使用の前に

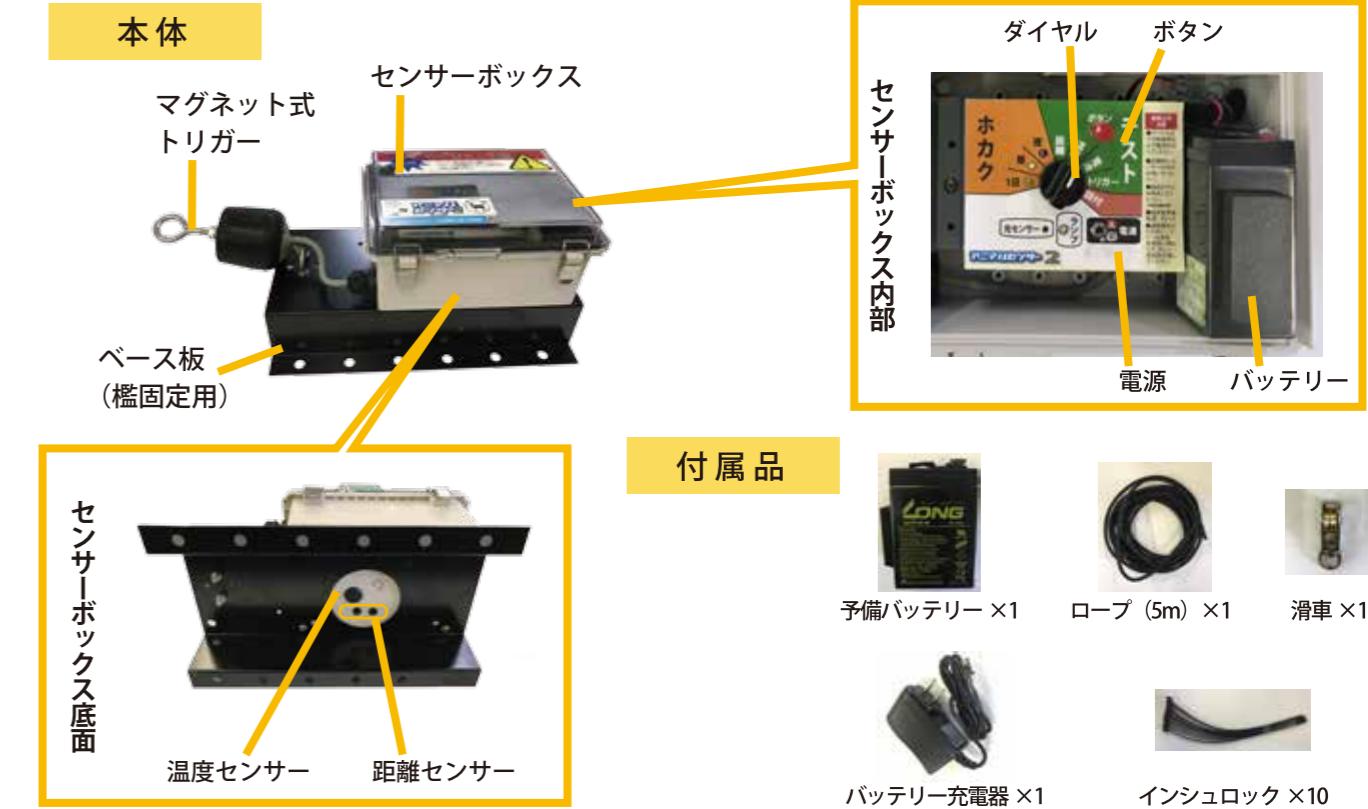


電源が「切」になっていることを確認したうえで、電源コネクタを挿してください。

※バッテリーは常時放電します。使用未使用にかかわらず、月 1 回は必ず充電するようにしてください。

製品の名称

当製品をお使いになる前にすべての品がそろっていることを確認してください。
万一、不足の品がありましたら、お手数ですが弊社までご連絡ください。



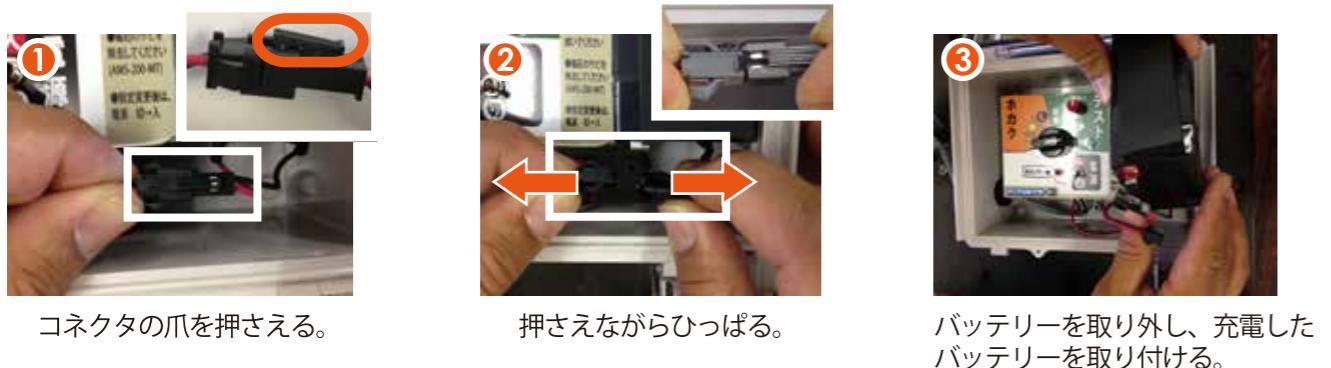
シールドバッテリー充電方法

バッテリー異常の場合はアニマルセンサーに接続しても作動しません。
当充電器はアニマルセンサー用シールドバッテリー専用です。他製品への使用はお控えください。
破損などに十分ご注意ください。



バッテリー交換方法

必ず電源が「切」になっていることを確認し、交換作業をおこなってください。
電源スイッチを入れた際に、1分間LEDとブザーが点滅した時はバッテリー交換が必要です。



設置と仕掛け方法

配置

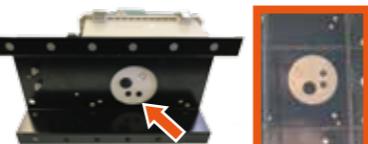
檻の中心から少し奥に配置



※手前になると逃げられる可能性があるため、ゲートから1.5m程度離してください

置き方のポイント

センサーの位置がメッシュにかからないように配置
※メッシュとかぶってしまうと距離センサーの設定ができなくなります



固定方法

付属のインシュロックや番線を使用し本体を固定してください



仕掛けのつけ方

1 ロープを結ぶ

※檻の形状により、付属の滑車を活用してください



※見やすくするために付属品ではない色のロープを使用しています



鳥居型
(ゲート枠の上部に横柱あり)



非鳥居型
(ゲート枠の上部に横柱なし)

2 マグネットの輪にロープを通して結ぶ



最後にストッパーを外す

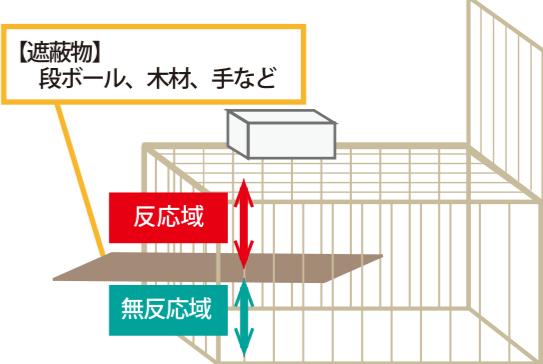


ダイヤル変更後は必ず電源を一度切り、入れ直してください

重要

距離設定方法・チェック方法

- ① ダイヤルを「距離」に合わせる
- ② 電源スイッチを「切」→「入」
- ③ センサー下の反応させたい高さに遮蔽物を置く
- ④ ボタンを長押し「ピーッ」と音が鳴り設定完了
- ⑤ 設定後、反応域に遮蔽物をかざすと「ピッピッ」と音が鳴りチェック可能



温度センサーチェック方法

- ① ダイヤルを「温度」に合わせる
- ② 電源スイッチを「切」→「入」
- ③ LEDが10秒間点滅する
- ④ 反応を示すと「ピッピッ」と音が鳴りチェック可能

電池残量チェック

- ① ダイヤルを「電池」に合わせる
- ② 電源スイッチを「切」→「入」
- ③ ボタンを押し、ランプの点滅回数でチェック可能

点滅回数	4回	3回	2回	1回
電池残量	満タン	やや満タン	普通	少ない

捕獲モード設定

- ① ダイヤルを設定したいモードに合わせる
- ② 電源スイッチを「切」→「入」
- ③ 設定したモードで稼働

1日	1日中監視し、反応すれば捕獲
昼	昼だけ監視し、反応すれば捕獲
夜	夜だけ監視し、反応すれば捕獲

※昼夜の状態は光センサーで判断

餌付けモード設定

- ① ダイヤルを「餌付」に合わせる
- ② 電源スイッチを「切」→「入」
- ③ 目的の獣がアニマルセンサーに反応した場合、ボタンを押すとLEDが点灯します

POINT

捕獲ができる合図。
捕獲モードに切り替えれば目的の獣を捕獲できる可能性が高まります。

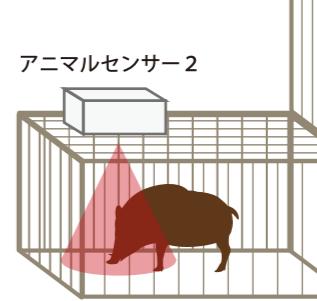
赤外線センサーの環境を変化させない

特許出願中 ※

餌付けモードについて

餌付け時からセンサーの環境に慣れさせ、スムーズな捕獲が可能です。

アニマルセンサー2



餌付けモード

- ・24時間センサー監視状態
- ・反応しても罠は作動しない

捕獲モード

- ・警戒心のうすれた獣を捕獲

※平成29年度農林水産省「野生鳥獣被害拡大への対応技術の開発委託事業」における兵庫県立大学・三重県農業研究所との共同開発

捕獲する場合

- ① 電源スイッチを「切」
- ② ダイヤルを「捕獲モード」に合わせる
- ③ 電源スイッチを「入」

注意

- 「餌付け」モードは24時間監視状態で電池の減りが早いため、こまめな充電が必要です。
- 万一の場合に備え、作業等でわな内に入る際は、必ず扉(ゲート)のストッパーをかけてください。